



夏空のまぶしい7月、いよいよ今月より新年度入りとなりました。

国際ロータリー第2660地区ガバナー就任にあたり、歴代ガバナーをはじめ地区内すべてのロータリアンの皆様、営々と築かれた地区の伝統を守り受け継ぎ、併せて時宜に適した改革にも取り組んでまいりたいと存じます。

どうぞこの1年間皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

ウィルフリッドJ.ウィルキンソンRI会長のテーマと活動方針について

★テーマ

RI会長の2007～08年度のテーマは、「ROTARY SHARES:ロータリーは分かちあいの心」です。

ロータリーとは、だれかれの区別なしに全ての人類に向けられる人類愛に他ならないのです。ロータリーは、その人類愛を表現し、分かちあう術を授けてくれるのです。と前置きして、私たちは、クラブ奉仕を通じて分かちあいますが、クラブはいわばロータリーの手となる存在です。ロータリークラブがなければ、ロータリーは存在しません。会員を表彰し、苦境にある会員に手を貸し、また、物故会員の家族にも連絡を保つことにより、クラブの充実化に努めるのです。また、クラブが常に開放的で親しみに溢れ、資格を有する人であればどんな人でも会員として迎え入れることの出来る環境づくりに徹しています。

私たちが職業奉仕を通じて愛を分かちあうのは、自らの職業を通じて、ロータリーの声となれるのです。私たちは、専門的な知識や能力、特技をも分かちあいます。そして、取引や仕事上の決定を行うときには、必ずロータ

リーの倫理観に照らすよう自らを律します。

私たちが社会奉仕を通じて愛を分かちあうのは、社会奉仕がロータリーの心臓部だからです。私たちが地元のニーズに取り組むのは、第一の責務が地元地域にあるからです。「ロータリーは、良いことをしてくれる」と言ってもらえるよう、地域社会でその存在感を高める努力を惜しみません。そして、これらの人々の中から「会員になりたい」という人が出てくることもあるでしょう。

私たちが国際奉仕を通じて愛を分かちあうのは、それぞれの国において一人ひとりがロータリーの目の役割を果たしているからです。地元地域のニーズとその援助の方法を見定めるために地元社会について知るのが、私たちの仕事です。その上で、地元だけでは賄いきれないとなれば、世界中のロータリアンから援助をもとめることができます。

私たちが青少年活動を通じて愛を分かちあうのは、青少年はロータリーだけでなく、すべての人々にとっての未来であるからです。青少年プログラムの強化に努めることにより、今日ここにいる私達がやがて席を譲る日がやって来たときに、強い責任感と倫理観を持つボランティア志向の新世代が、この会場の席を埋め尽くしてくれるはず。これらの若い人々は、私たちのほるか先に広がるロータリーの未来への懸け橋なのです。

私達は、会員増強を通じて愛を分かち合います。どんな多くの業績を挙げてみたところで、新しい会員を増やし、既存会員を維持し続けることができなければ、ロータリーは生き残れません。私たちは迎え入れた新会員を責任をもって支え、やがては自らが新会員を会入させることができるまでに、ロータリーの中で成長していけるよう見守っていく必要があります。

活動方針=強調事項

本年度も、ボイド前RI会長の強調事項である水保全、保健および飢餓救済、識字率向上を引継ぎます。数年間にわたり、ロータリーの取り組みの最前線に置かれてきたこれらの基本的なニーズを続け、きれいな水と健康、さらに読み書きの能力が授けられれば、多くの人々に自助自立の道が開かれるからです。

もう一つの強調事項であるロータリー家族も引継ぎます。それは互いを思いやり、助け合うことでロータリーが末永く、意義ある活動を続けることができるからです。

これらのニーズに取り組むときには、どうか、ロータリーの真髓が愛であり、その発露が親切心であることを思い起こしてください。そして、特に援助を受ける側の人々と接する際には、どうか親切心を示してください。おなかを空かせた人に食事を持って行けば、おなかを満たすことができ、さらに食事をともにするなら、その人の心をも満たすことができます。

こういった理由から、2007～08年度のテーマを「ロータリーは分かちあいの心」としました。

以上が2007～08年度のRI会長のテーマと活動方針です。

★RI会長賞

会長賞は年間の活動成果として表彰されるもので、どの奉仕部門にも、クラブの各委員会がそれぞれの部門を分担され、クラブ全体として均衡のとれた成果を上げて頂くことを目的としています。

会員目標(必須)2008年3月31日までに1名の会員純増を達成する。

6つのカテゴリー

会員増強 クラブ奉仕 職業奉仕 社会奉仕 国際奉仕 青少年

6つのそれぞれのカテゴリーの項目ごとに各1つ以上達成することです。

★2007～08年度ローターアクトおよびインターアクト会長賞

ローターアクト・クラブとインターアクト・クラブは、「ロータリーは分かちあいの心」を実践する価値ある奉仕活動を遂行したことにより、表彰を受けることができます。本賞の受賞資格を得るには、ローターアクト・クラブとインターアクト・クラブは、会長賞の要項にあげられた活動の中から(分野は問わず)少なくとも4つの活動を実行しなければなりません。

★ロータリー財団について

ロータリー財団はご承知のとおり1917年アーチ・クラウン氏が、「全世界的な規模で規善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金をつくろう」と提案し、創設された非営利財団法人です。当然のことながら、ロータリー財団を構成する法人会員は国際ロータリーのみで、正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」となっております。国際ロータリーとは、法的に組織は違っても、その目的・使命・活動は両者共に一体のものであります。

2007～08年度のロータリー財団目標は、ロータリー財団管理委員会委員長であるビチャイ・ラタクル氏の4つの夢でもあります。

1. ポリオ撲滅を現実のものにすること。
2. 毎年あなたも100ドルを
(会員一人ひとりが実施してください。)
3. 平和および紛争解決の分野における、「国際問題研究のためのロータリーセンター」と「ロータリー平和および紛争解決研究プログラム」のプログラム
4. ロータリー財団学友とのつながりを取り戻すこと。

ロータリー財団のプログラムは、国際親善奨学金・平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリーセンター等の教育的プログラム。

マッチング・グラント、地区補助金等の人道的補助金プログラム。

ポリオ・プラスへの財政的支援の継続。

以上がロータリー財団の設立趣旨と本年度の目標です。

★2660地区活動方針のテーマ

2007～08年度のテーマは『ロータリーは分かちあいの心』です。このテーマの実施にあたり、『ロータリアンは、愛と親切心を実践し、分かち合い、お互いに助け合う心』を今年度の2660地区の活動方針とします。

・ロータリークラブの原点を見つめ直し、本年度のテーマである「ロータリーは分かちあいの心」を理解していただくためにも、研修に重点を置きます。

・ロータリーのいろいろな奉仕活動を通じて、「ロータリーは分かちあいの心」を実践して多くの友人を作ってください。

・ロータリー家族の参画を通じて会員の友情を深めてください。

ことわざに『小才は縁に気づかず』
「中才は縁に気づいて、縁を生かさず」
「大才は袖すりあわすだけの縁をも生かさず」